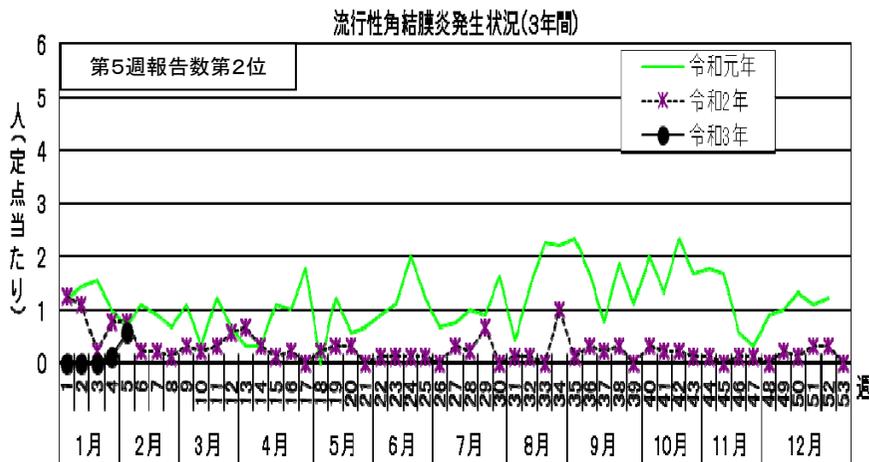
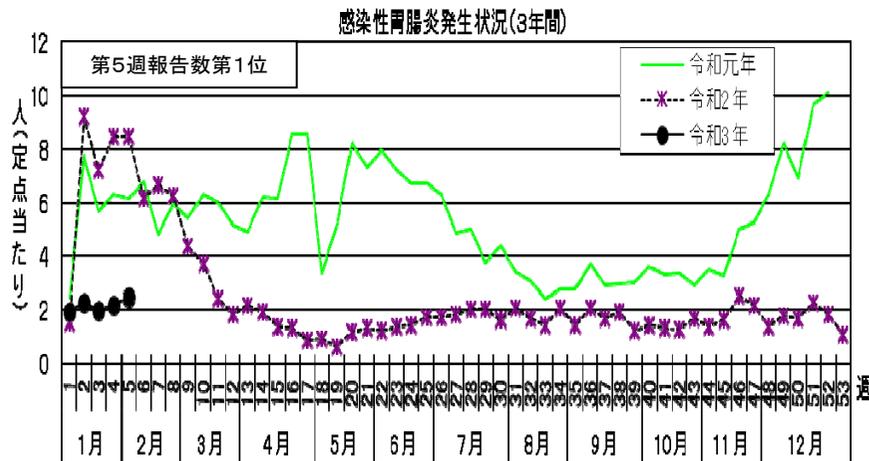


今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和3年2月1日（月）～令和3年2月7日（日）〔令和3年第5週〕の感染症発生状況

第5週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) 流行性角結膜炎 3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は2.47人と前週（2.16人）から増加しましたが、例年より低いレベルで推移しています。
 流行性角結膜炎の定点当たり患者報告数は0.56人と前週（0.11人）から増加しましたが、例年より低いレベルで推移しています。
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は0.47人と前週（0.43人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。



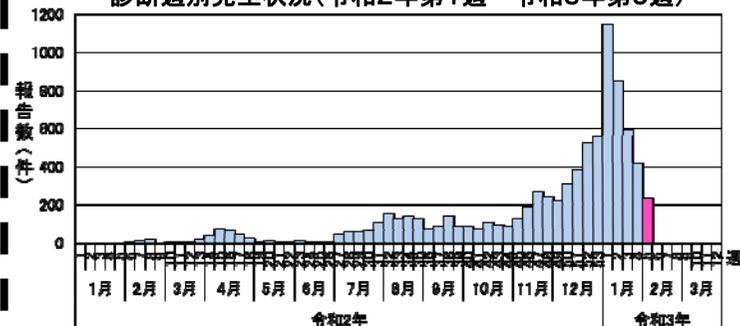
新型コロナウイルス感染症～変異株でも基本的な感染対策は同様です！～

川崎市における令和3年第5週（2月1日～2月7日）の新型コロナウイルス感染症の報告数は233件と、令和3年1月上旬をピークに全国と同様に減少してきました。しかし、1月以降、国内の複数の自治体から海外由来の変異株が検出され、問題になっています。

現在、国内で判明している新型コロナウイルスの変異株には、英国由来、南アフリカ共和国由来、ブラジル由来の3種類があります。いずれも従来の行政検査で新型コロナウイルス感染症の判定は可能であり、さらに、変異株を検出できる検査体制の整備が、川崎市を含め全国の自治体で進められています。

変異株であっても基本的な感染対策は変わりません。マスクを正しく着用し、こまめな手洗いや手指消毒を徹底しましょう。

川崎市における新型コロナウイルス感染症の診断週別発生状況(令和2年第1週～令和3年第5週)



基本的な感染対策



マスクは鼻と口の両方を確実に覆いましょう。
 手洗いや手指消毒を徹底しましょう。

変異株が検出された場合は、現時点では、無症状であっても入院となります。

